

14/6 31, 72

英國で開かれていた国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)は成果文書「グラスゴー気候合意」を採択して閉幕しました。世界の気温上昇を産業革命以前と比べて「 $1\cdot5$ 度」に抑える努力を追求する」と明記しました。「二酸化炭素(CO₂)を大量に出す石炭火力発電については表現が当初案の「段階的廃止」から後退したものの「段階的削減」となりました。日本政府はCO₂排出量以降も石炭火力を使う姿勢を示し批判を浴びました。CO₂排出世界5位の日本が脱炭素に責任を果たさないことは許されません。

COPと岸田政権

張主

1.5度目標達成へ姿勢を改めよ

た。各國の今後の具体的行動が決定的です。

年以降も石炭火力を使う姿勢を示し批判を浴びました。CO₂排出世界5位の日本が脱炭素に責任を果たさないことは許されません。

1.5度目標達成へ姿勢を改めよ

クラスター気候会議は今後10年間が「決定的」だとして、各國に「加速度した行動」を求めました。残された時間はきわめて限られています。

た。各國の今後の具体的行動が決定です。

岸田文雄首相は、アジアへの排出ゼロに向けて「日本が強いリーダーシップを發揮する」と語っておりました。OP-26の首脳会合で出席しましたが、かえって立ち遅れを際立つ結果となりました。長崎市議会でも述べました。長崎はわたりてCO₂を大量に排出する事務局は、これまでに多大な影響を及ぼすことを述べました。長崎が提出した温暖効果ガスの排出削減目標をすべて達成しても世界の気温が今世紀末までに2・7度上昇する計算をしていました。今回の合意は、1・5度以内の方針が採択されました。

けて、ガス火力なども再生可能エネルギーに置き換えれば賃賃ゼロは可能です。（気候危機を打開する日本共産党的2030戦略）

日本はただちに具体的行動を開始すべきです。削減目標の可及上げや石炭火力の既存に踏み出まいと一刻の猶予もなりません。

「气候の影響が一まるかに物語る」といふ點をもつた。その上で名医園は30年までの掛田部城田懸を22年未満とする無検討したやうの考めたといふは眞理だ。